

記載例

補助金精算額内訳書(総括表)

補助事業者名 社会福祉法人〇〇園

事業区分	総事業費 (A) 円	寄附金その他の収入額 (B) 円	差引額 (A)-(B) (C) 円	対象経費の実支出額 (D) 円	選定額 (E) 円	基準額 (F) 円	県補助基本額 (G) 円	県補助所要額 (H) 円	補助金交付決定額 (I) 円	補助金受入済額 (J) 円	差引過△不足額 (J)-(H)又は(I) (K) 円
(1) 介護職の魅力発信事業											
(2) 介護技術コンテスト開催事業											
(3) 訪問介護サービス提供責任者研修事業											
(4) <u>アセッサー講習受講支援事業</u>	37,000	0	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	0	△ 37,000
(5) 医療介護連携介護職員養成モデル事業											
(6) 市民後見推進事業											
(7) 介護ロボット導入支援事業											
(8) 新採用介護職員人材育成・定着支援事業											
(9) チームワーク強化支援事業											
(10) 認知症ケアにおける多職種連携研修事業											
(11) 介護支援専門員地域同行型研修事業											
(12) 階層別研修事業											
(13) リハビリテーション指導者養成事業											
(14) 介護型全世代ライフプラン形成事業											
合計	37,000	0	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	37,000	0	△ 37,000

計算式を入れていますので、このセルは入力不要です

〈受講者2名の場合の例〉
 総事業費：受講料18,500円／人×2人=37,000円
 基準額（県補助基本額）：補助額18,500円／人×2名=37,000円

上に記載した数字が自動転記されますので、入力不要です

(注) 1 本調書へは予定額ではなく、すべて実績額を記入すること。
 2 (A)欄は本事業に要したすべての経費の実支出合計額を記入すること。
 3 (B)欄は交付要綱第5第2項に定める収入額を記入すること。
 4 (D)欄は別表1に掲げる「補助対象経費」について別紙7で算出した実支出額を記入すること。
 5 (E)欄は各事業ごとに(C)欄と(D)欄を比較して少ない方の金額を記入すること。
 6 (F)欄は別紙7で算出した基準額を記入すること。
 7 (G)欄は各事業ごとに(E)欄と(F)欄を比較して少ない方の金額を記入すること。
 8 (H)欄は各事業ごとに(G)欄に補助率を乗じて得た額を記入すること。(1,000円未満は切捨てること。ただし、事業区分の(5)の事業を除く。)
 9 市民後見推進事業については、別紙6-1を添付すること。
 10 階層別研修事業については、別紙6-2を添付すること。